



～おはなしと絵本を楽しむ～

おはなしグループ「パルランド」通信

第24号

2022年6月

夏といえば、こわいおはなし！子どもはこわいおはなしが好き！

まだ、コロナ感染症が出現する前、イベントでも「こわいおはなし会」をしたことがあります。部屋の明かりを消して間接照明や電気のろうそくをともした中で。おうちの人や友達とひっついてドキドキしながら聞いてくれていました。今ではそんな密な状態はとてできませんが。



こわいおはなしといってもホラーではありません。こわいおはなしというのは人間にとって必要不可欠な要素のひとつのように思います。昔から伝えられたこわいおはなしは今の私たちにもとても意味のあるものです。

まだまだ、密にならないよう注意しながらのおはなし会ですが、心は子どもたちとぴったりくっついてます。



おすすめのおはなし



アナンシと五



アナンシというのは、ときどき、人間になったり、ときどき、大きなクモになったりする不思議な生きもので、とにかく悪いやつでした。

アナンシの近くに「五」という名の魔女がいましたが、「五」は自分の名前がいやで、ある日、「五」ということばを口にしたものは死んでしまえ」と呪いをかけました。

それを聞いたアナンシは、わるいことをたくさんみます。さて、アナンシの悪だくみは成功するのでしょうか？

子どもたちに人気の楽しいおはなしです。

子どもに聞かせる世界の民話
実業の日本社



おすすめの絵本



にゅうどうぐも



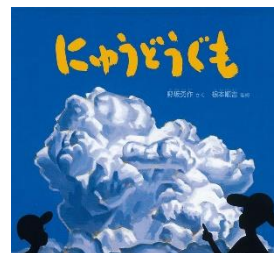
ゲリラ豪雨も雷も、すべては入道雲から。夏休みのある日。朝はまだ曇り空。太陽が高くなるにつれて、やがて青空に。

時間とともに綿雲がうまれました。昼過ぎには綿雲はどんどん成長し始めてついには入道雲に。

ドラマチックな入道雲の変化を迫力いっぱい描いた天気観察絵本です。

巻末の解説を読んだら、さらに絵本が楽しめる夏にぴったりの絵本です。

作 野坂勇作
監修 根本順吉
かがくのとも絵本
福音館書店



今回のおすすめは偶然、くも(クモ、雲)が主人公です。「アナンシと五」でアナンシは、アヒル、うさぎ、ハトをわなにはめようとします。まんまと引っ掛かったのは…？ そしてアナンシをやっつけたのは誰でしょう？



おはなしの記録3月～5月実施

「いぬとにわとり」「鬼とあんころもち」
「鳥のみじい」「三つの願い」など



春はこどもたちにとってスタートの季節！出張おはなし会も新しい子どもたちとの出会いでウキウキワクワクします。今年度も楽しいおはなしをたくさんお届けします。



図書館大きな子のおはなし会



毎月第1土曜日 午前10時30分～
(30分程度)
おはなしのへやにて

内容：ストーリーテリングと絵本など
※予約はいりません。お気軽にご参加ください
ただし図書館が休館のときはありません

～想像の翼を大きく広げて～

耳から聞くおはなしの楽しさを多くの人に届けます。興味のある方はぜひ一度聴いてみてください。また、ご希望の場所に出かけて、おはなしを語ることも可能です。お気軽にご相談ください。

【おはなし会のお問い合わせ】
西脇市図書館（電話0795-23-5991）
パルランド 丸山（電話090-8930-0921）
パルランド通信は「パルランド」が発行しています。

